

まちの話題

夏に向けて、パレードで節水の呼びかけ

水道に対する理解と関心を高め、水資源の大切さと節水と呼びかけることを目的に、町上下水道課と町管工事協同組合(呉屋信秀理事長)が合同で、6月1日に節水パレードを実施しました。

パレードの出発式では上岡明町長が「おいしい水の安定供給のためにも、これからの夏に向けて節水と呼びかけるのは重要。」と激励しました。



県産品の積極的な活用を！要請団が来町

県産品に対する理解と需要の拡大を図り、地域経済社会の発展を図ることを目的に「県産品奨励キャンペーン」の要請行動団が、7月6日に町役場を訪問し、県産品の優先使用についての要請を行いました。

要請には町内所在の3社を含む23の事業所が参加。公共工事における県産品や県産リサイクル品の優先使用や、町民への理解を求めました。

対応した城岡正一副町長は「地域特性を活かした県産品は県内外で需要が高まっている。地場産業の振興、雇用の創出などに繋がるよう、町全体で県産品の愛用に努めたい。」とあいさつしました。



西原郵便局が「沖縄復帰40周年記念切手」を寄贈

沖縄の本土復帰から今年で40年を迎えたことを記念して「沖縄復帰40周年記念」切手シートを作成したことを受け、西原郵便局が切手シートを寄贈しました。

切手シートは県内郵便局で発売され、1000シートが即日完売したとのこと。寄贈にあたって、安里智紀局長は「節目の記念となる商品なので、西原町で活用してもらえれば、今後も地元の西原町と連携していきたい。」と語りました。



海外短期留学のため、中学生10名へ助成金を交付

教育・文化・歴史・産業等の視察学習やホームステイ等の活動を通して国際性を身につけることなどを目的に、中学生をハワイに派遣する「平成24年度西原町中学生海外短期留学」の助成金交付式が、6月28日に町役場会議室で行われました。助成金は、町から8名、NPO法人西原町人づくり支援の会から2名の計10名に対して交付されました。

交付式で上岡明町長は「英語の学習はもちろん、文化交流を通じて視野を広げてください。」と激励しました。また、留学に向けて生徒たちは「自分の英語がどこまで通用するか試したい」「現地の人と友だちになりたい」などの抱負を語りました。

生徒たちは、7月23日から8月5日の日程でホノルル近郊を訪問。各地で視察学習やホームステイ、現地の青少年との交流などのプログラムを体験します。



文教のまち学園開校！

幅広い交流や新たな知識などを通して、健康で生きがいのある毎日を送ることを目的に「平成24年度高齢者学級文教のまち学園」が開講し、7月10日に開講式と第1回の講座が行われました。

第1回講座には、約60名が参加。ドイツの国立音楽大学を卒業し、県内外で多くのコンサートに出演している平山留美子さんが出演し「夏に歌う～宮良長包の世界～」と題したコンサートが行われました。平山さんは宮良長包の作曲した「えんどうの花」などを披露し、美しい歌声を響かせていました。

文教のまち学園は今回を皮切りに、11月まで全10回の講座で琉歌や三線、文化財などさまざまなテーマの講演やバスツアーなどのプログラムが予定されています。



【文教のまち学園】に関するお問い合わせは町中央公民館 ☎945-3657】

坂田キッズ、ソフトテニスで上位独占！

ソフトテニスの第19回宮城勉杯大会が、5月19日に沖縄県総合運動公園で開催され、経験者の部で坂田キッズの真栄城百夏・金城杏樹組が優勝、仲原梨花・平良涼奈(すべて坂田小6年)組が準優勝し、1位2位を坂田小の児童が独占しました。この結果、両ペアは九州大会(熊本県)と全国大会(島根県)に出場することが決まりました。

出場を前に、チームを代表して真栄城さんが「九州・全国で結果を残せるよう、ペアと協力して全力でプレーしたい。」と抱負を語りました。



テニスを通じて男女共同参画を目指す西原町長杯さわふじミックスダブルステニス大会

テニスを通して男女が共通の目標に向かって協力し、対等な協力関係の構築を図ることを目的に「第7回西原町長杯さわふじミックスダブルステニス大会」(町テニス協会主催)



が、6月24日に西原町営テニスコートで開催されました。大会には16チームが参加。男女がペアを組むミックスダブルス競技に参加し、互いにフォローしあいながらプレーしました。

西原高校がインターハイ県予選で躍動！

6月2日から4日間の日程で開催された、平成24年度沖縄県総合体育大会の女子バスケットボール競技で、西原高校が見事に優勝。さらに6月16、17日に開催された全九州高校総体でも優勝し、九州チャンピオンに輝きました。

またバレーボールでは、沖縄県総合体育大会において男女アベックで優勝。男女ともに実力を発揮し、1セットも落とさない優勝でした。

それぞれの大会は全国高校総体(インターハイ)の県予選となっているため、西原高校はバスケットボールとバレーボールの各競技で8月に富山県で開催される全国大会に出場します。全国大会を前に町役場を訪れた選手たちは、全国での上位進出を力強く誓いました。



マリンパークでビーチバレーの熱戦展開

「第24回ビーチバレーOKINAWA2012」(沖縄県バレーボール協会主催、西原町・同教育委員会・同体育協会後援)が、7月1日に西原きらきらビーチで開催されました。

大会には2人制一般男子・女子の部など6部門が行われ、91チームが参加。灼熱の太陽のもと、各コートでは熱戦が展開され、バレーボールのまち西原での大会を盛り上げました。



眞眞さん、仲宗根さん、人権擁護委員に就任

憲法に定められている基本的人権の擁護と自由人権思想の普及啓発を目的とする人権擁護委員の委嘱状伝達式が、7月2日に町役場で行われ、2名の委員に委嘱されました。

委嘱されたのは眞眞信子さんと仲宗根好美さん。眞眞さんは再任、仲宗根さんは今回新しく委員に就任しました。西原町では現在、安里政雄さんと知花正さんが活動しており、今回で本町の人権擁護委員は4人となりました。

委嘱を受けて眞眞さんは「社会の中では、みんな苦しみながら耐えながらがんばっている。そんな方の励みになりたい。」と語り、新任の仲宗根さんは「思いやりを持って、それぞれの立場に立ちながら進んでいきたい。」と決意を述べました。

